7T84 BSJ7T84-1405

セイコーウオッチ株式会社

SEIKO

取扱説明書

INSTRUCTIONS

YACHTING TIMER CHRONOGRAPH
ヨットタイマー機能付 クロノグラフ

G-8

**この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。**

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。

※ お買い上げ時の電池は、機能や性能を検査するための電池（モニター電池）です。保証期間内でも電池交換は有料となります。

※ 商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。
必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、水分などが付着してさび発生の原因となります。

製品取扱上のご注意

⚠警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

・次のような場合、ご使用を中止してください
　○時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
　○バンドのピンが飛び出してきた場合
　※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品・電池を置かないでください
　部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
　万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

・時計から電池を取り出さないでください
　電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
　電池は充電しないでください。
　破裂・発熱・液漏れ・破損などのおそれがあります。

⚠注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

・以下の場所での携帯・保管は避けてください
　○揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
　○ 5℃～ 35℃を外れる温度に長期間なるところ　○高湿度なところ
　○磁気や静電気の影響があるところ　○ホコリの多いところ
　○強い振動のあるところ
　※電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。

・アレルギーやかぶれを起こした場合
　ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

・その他のご注意
　○金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
　　手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
　○商品の分解・改造はしないでください。
　○乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
　　けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
　○使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
　○提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
　　衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

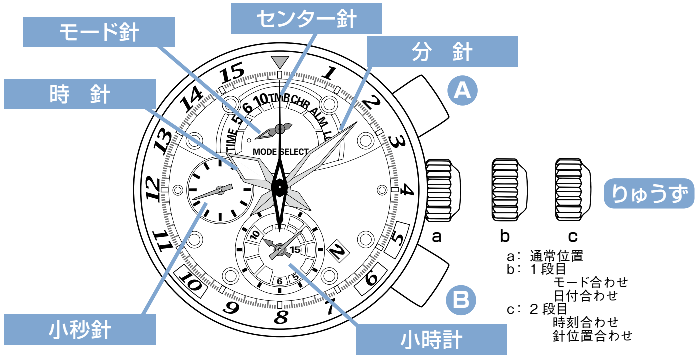
目　次

操　作　に　つ　い　て

製品の特長

- ●基本時計は、時•分•小秒針で表示します。
- ●ヨットタイマーは、カウントダウンタイマーと、タイマー終了時に自動的にスタートするストップウオッチを組み合わせたもので、ヨット競技などで使用することができます。カウントダウンの時間は、5分、6分、10分の中から選択して使用します。
- ●タイマーは1分単位で最大15分まで設定できます。
- ●ストップウオッチは1/5秒単位での計測が可能な12時間計です。計測時間が12時間に達すると自動的に停止します。
- ●アラームは設定した時刻に1回だけ鳴る「ワンタイムアラーム」と、設定した時刻に毎日鳴る「デイリーアラーム」とがあります。両方とも12時間制のアラームです。
- ●ローカルタイム機能では、時差のある他の地域の時刻を１分単位で表示します。

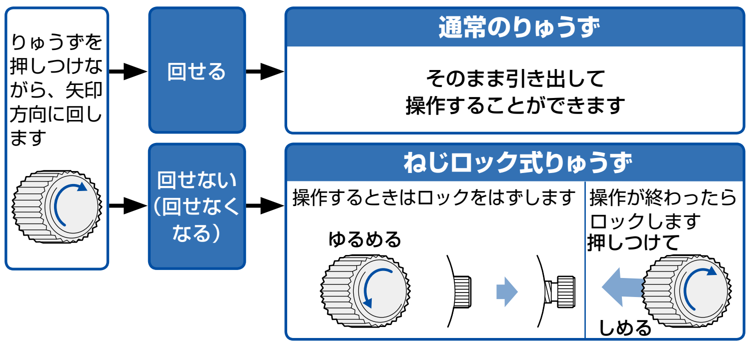
各部の名称



※りゅうずにはネジロック構造をもっているものがあります。
（→「りゅうずについて」P.8を参照）
※以降の説明では、説明に不要な部分の針を省略することがあります。

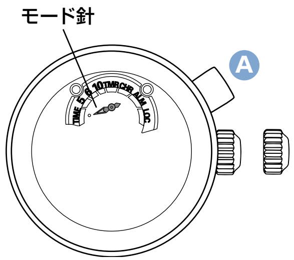
りゅうずについて

りゅうずには、通常のものとロックできる構造のものの、2つのタイプがあります。お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。
※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

モードを切り替える



りゅうず　りゅうずを1段目まで、引き出してください。

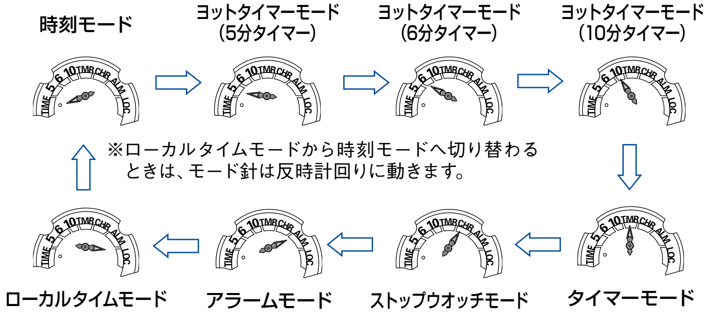
▼

A　ボタンⒶを押して、モード針を使いたいモードに合わせます。

▼

りゅうず　モード針が使いたいモードを指示した状態で、りゅうずを通常位置に戻します。

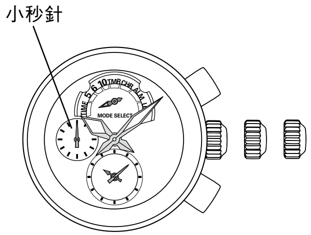
ボタンⒶを1回押すごとに以下の順序でモード針が移動し、使用できるモードを指示します。



※ヨットタイマーモードで5分、6分、10分タイマーのどれかが計測中、またはタイマーモードでタイマーが計測中のときは、他のタイマーを使用できません。よって、モード針は、計測中のタイマーが終了するまで他のタイマーを指示しません。

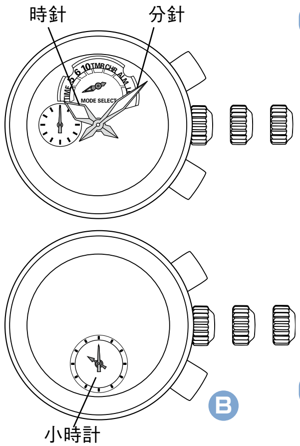
●時刻合わせでは、基本時計と小時計を現在時刻に合わせます。
●各機能で使用する針の0位置（基準位置）がずれている場合には、時刻合わせを行う前に、針を0位置に正しく合わせる必要があります。針の0位置を正しく合わせるには、「針位置合わせ」P.36を参照してください。

●時刻の合わせかた（基本時計と小時計）



りゅうず ▼ りゅうずを2段目まで引き出してください。小秒針が止まります。小秒針は12時の位置に止めてください。

※タイマー計測中、またはストップウオッチ計測中にりゅうずを引き出すと、強制的に計測は停止し、タイマーまたはストップウオッチはリセットされます。



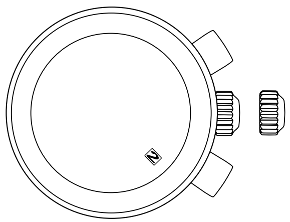
りゅうず ▼ りゅうずを回して、「基本時計」の時刻を合わせます。
※日付が変わるところが、午前0時です。午前午後を間違えないように合わせてください。
※この時、正確に合わせるために分針を正しい時刻より4〜5分進めてから針を戻して合わせてください。

Ⓑ ▼ 次にボタンⒷを押して「小時計」の時刻を合わせます。
ボタンⒷを押すごとに小時計の針が1分進みます。ボタンⒷを押し続けると、小時計の針は早送りします。

りゅうず すべての設定が完了したら、時報と同時にりゅうずを通常位置まで押し込みます。

●日付の合わせかた

◆時刻合わせができてから、日付を合わせてください。
◆日付け合わせは、1か月が31日未満の小の月（2月、4月、6月、9月、11月）の翌月の初日に行います。



りゅうず ▼ りゅうずを1段目まで、引き出してください。

りゅうず ▼ りゅうずを右に回して、日付を合わせてください。
※日付を合わせているときにボタンⒶ、またはボタンⒷを押さないでください。選択中のモードによっては設定内容が変わってしまいますので、ご注意ください。
※午後9時から午前1時までの間に日付を合わせないでください。この時間帯に合わせると、翌日になっても日付が変わらないことがあるので、この時間帯外で日付を合わせてください。

りゅうず 設定が完了したら、りゅうずを通常位置まで押し込みます。

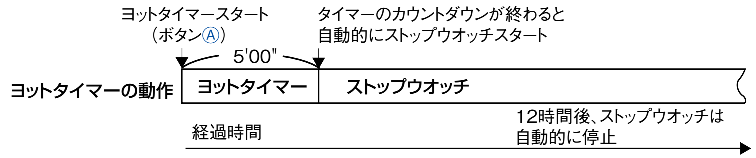
ヨットタイマーモード

◆ヨットタイマーは、カウントダウンタイマーと、タイマー終了時に自動的にスタートするストップウオッチを組み合わせたもので、ヨット競技などで使用することができます。

●ヨットタイマーの動作

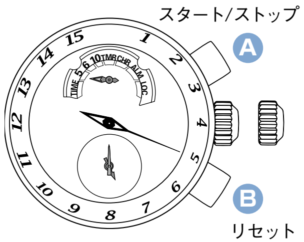
- ●ヨットタイマーは、5分、6分、10分の3種類から選択して使用します。
- ●ヨットタイマー機能を作動させると、選択したカウントダウンタイマーが1秒単位で計測を開始します。
- ●残り時間は、センター針と小時計の2つの針が反時計回りに動いて示します。
- ●ヨットタイマーがカウントダウン計測を終えると、タイムアップ音が鳴り、自動的にストップウオッチの計測が始まります。
- ●ストップウオッチは1秒単位での計測が可能な12時間計です。計測時間が12時間に達すると自動的に停止します。

※下記の図は、5分ヨットタイマーを例にヨットタイマーの動作を示しています。



※ヨットタイマーは一度に1種類しか使用できません。
※タイマー動作中にタイマーを切り替えることはできません。タイマーの種類を変更するときは、現在動作しているタイマーを止めてから別のタイマーに切り替えてください。
※タイマーの種類を変更すると、それまで選択していたタイマーは自動的にリセットされます。

●ヨットタイマーの使いかた



りゅうず　りゅうずを1段目まで、引き出してください。

▼

A　ボタンⒶを押して、モード針を使いたいヨットタイマーに合わせます。

▼

りゅうず　りゅうずを通常位置まで押し込みます。

▼

A　ボタンⒶを押して、ヨットタイマーをスタートさせます。
※ヨット競技では、予告信号と同時にヨットタイマーをスタートさせてください。
※ヨットタイマーと、タイマーモードのタイマーの使い方は共通です。

＜タイマーの動作＞

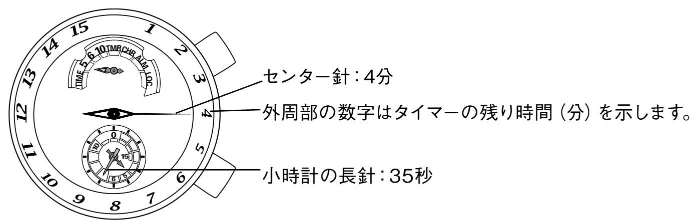
Ⓐ ━ Ⓐ　Ⓑ
スタート　ストップ　リセット

※ヨットタイマーは、タイマーが停止しているときのみリセットできます。

●ヨットタイマーによる計測の見かた

◆センター針が残り時間の分を、小時計の長針が残り時間の秒を示します。残り時間が60秒より短くなると、センター針も1秒単位でカウントダウンを始めます。

例：5分ヨットタイマーで計測中で、残り時間が4分35秒のときの表示



※センター針と小時計の2つの針は、ヨットタイマーのカウントダウン中は反時計回りに動きます。
※ヨットタイマーがカウントダウン計測を終えると、タイムアップ音が鳴ります。
※小時計の短針も残り時間の分を示します。
※ヨットタイマーの表示は、タイマーモードでのタイマーの表示と同じです。

●ストップウオッチへの自動リレー機能

◆ヨットタイマーがカウントダウン計測を終えると、自動的にストップウオッチの計測が始まります。
◆ストップウオッチは、1秒単位での計測が可能な12時間計です。計測時間が12時間に達すると自動的に停止します。
◆計測した時間は、センター針と、小時計の時針および分針で表示します。
◆スプリット機能があります。

●ヨットタイマーのリセットのしかた

ストップウオッチを停止してからヨットタイマーをリセットします。

ストップウオッチ針が動いている場合

1. ボタンⒶでストップウオッチをストップ。
2. ボタンⒷでヨットタイマーをリセット。

ストップウオッチ針が止まっている場合、以下の3つの場合があります。

[ストップウオッチがストップ状態で止まっている]

1. ボタンⒷでヨットタイマーをリセット。

[スプリット表示でストップウオッチが計測中]

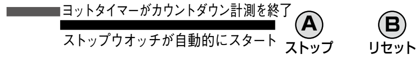
1. ボタンⒷでストップウオッチ針が早送りし、その後計測状態になる。
2. ボタンⒶでストップウオッチをストップ。
3. ボタンⒷでヨットタイマーをリセット。

[スプリット表示でストップウオッチがストップ状態で止まっている]

1. ボタンⒷでストップウオッチ針を早送りし、その後止まる。
2. ボタンⒷでヨットタイマーをリセット。

ヨットタイマーからストップウオッチまでの動作の流れ

<ヨットタイマーに続いて通常の計測を行う場合>



<ヨットタイマーに続いて時間計測を積算で行う場合>



※再スタートとストップは、ボタンⒶを押すことによって何回でも繰り返すことができます。

<ヨットタイマーに続いて途中経過（スプリットタイム）を計測する場合>



※スプリットタイムの計測と解除はボタンⒷを押すことによって何回でも繰り返すことができます。

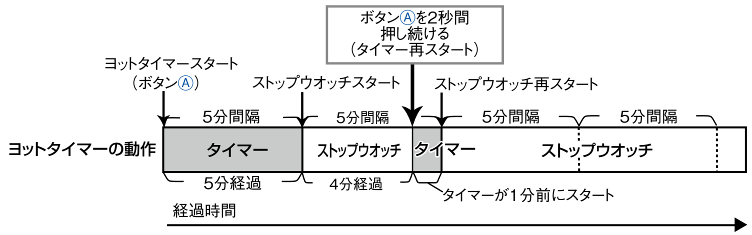
<競技中の２艇のタイムを計測する場合>



●再スタート設定機能

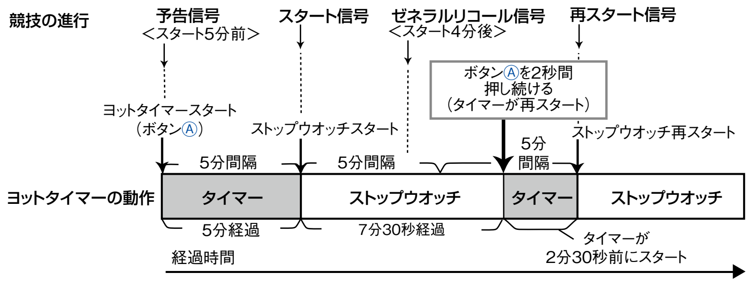
◆ヨットタイマーには、再スタート設定機能があります。この機能を使うと、ストップウオッチ計測が中断しても、正確かつ簡単に計測を再スタートすることができます。この機能は、ヨット競技でフライング後に計測を再スタートしなければならないときに便利です。
◆再スタートの設定機能は、ヨットタイマーによるカウントダウン後、ストップウオッチ計測中であれば、いつでも使用できます。
◆ボタンⒶを約2秒間押し続けると、再スタート設定機能が作動します。
◆ストップウオッチ計測の再スタートは、計測を始めてから一定時間ごとに行われます。
◆再スタート設定をしてからストップウオッチが計測を再スタートするまでの時間は、ストップウオッチがスタートする前にカウントダウン計測を終えたヨットタイマーの種類によって自動的に決まります。

例：5分ヨットタイマーがカウントダウンを終えてから4分が経過後、ストップウオッチの計測中に再スタートの設定機能を作動させた場合



※5分ヨットタイマーの場合、ストップウオッチは計測のスタートから5分間隔のタイミングで再スタートします。
※6分または10分ヨットタイマーの場合、ストップウオッチは計測のスタートからそれぞれ6分間隔または10分間隔で再スタートします。

◆実際のヨット競技では、5分ヨットタイマーの計測において、以下のように再スタート設定機能を使うことができます。
<予告信号からスタート信号までの時間が5分で、スタート信号から再スタート信号までの時間が10分と決められている競技において、再スタート設定機能を使用した例>

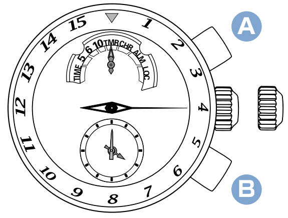


※ゼネラルリコール信号とは、多くの艇がフライングやルール違反を行い、競技委員会がこれを識別できなかったとき、または競技のスタートの手順を間違ってしまった場合に発せられる信号です。
※ヨット競技の詳細なルールについては、競技規則をご確認ください。

タイマーモード

◆タイマーは1分単位で1分から最大15分まで設定できます。
◆残り時間は、センター針と小時計の2つの針が反時計回りに動いて表示します。
◆タイマーがカウントダウン計測を終えると、タイムアップ音が鳴ります。

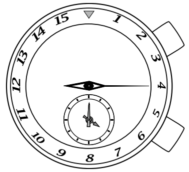
●タイマーの使いかた



※センター針が示す文字板外周部の数字がタイマー時間です。(小時計の短針もタイマー時間を示します。)

りゅうず　りゅうずを1段目まで、引き出してください。
▼
Ⓐ　ボタンⒶを押して、モード針をTMR(タイマー)モードに合わせます。
▼
Ⓑ　ボタンⒷを押して、センター針を設定したいタイマー時間に合わせます。
※ボタンⒷを押すごとにセンター針が1分進み、タイマー時間が1分増えます。
▼
りゅうず　りゅうずを通常位置まで押し込みます。これでタイマーを使う準備ができました。

例:タイマーを4分に設定したときのタイマー表示



※タイマー時間を15分に設定してからボタンⒷをもう1回押すと、タイマー時間は1分に戻ります。
※設定したタイマー時間は、タイマーモードを別のモードに切り替えても保持されます。

※タイマーの操作方法は、ヨットタイマーのカウントダウンタイマーの操作方法と同じです。詳細は、「●ヨットタイマーの使いかた」P.16と「●ヨットタイマーによる計測の見かた」P.17を参照してください。
※タイマーモードのときは、ストップウオッチへの自動リレー機能は作動しません。

<タイマーの動作>
Ⓐ スタート — Ⓐ ストップ　Ⓑ リセット

ストップウオッチモード

◆ストップウオッチは1/5秒単位での計測が可能な12時間計です。計測時間が12時間に達すると自動的に停止します。
◆計測した時間は、センター針と、小時計の時針および分針で表示します。
◆スプリット機能があります。

●ストップウオッチのリセットのしかた

ストップウオッチ針が動いている場合
1. ボタンⒶでストップウオッチをストップ。
2. ボタンⒷでストップウオッチをリセット。

ストップウオッチ針が止まっている場合

[ストップウオッチがストップ状態で止まっている]
1. ボタンⒷでストップウオッチをリセット。

[スプリット表示でストップウオッチが計測中]
1. ボタンⒷでストップウオッチ針が早送りし、その後計測状態になる。
2. ボタンⒶでストップウオッチをストップ。
3. ボタンⒷでストップウオッチをリセット。

[スプリット表示でストップウオッチがストップ状態で止まっている]
1. ボタンⒷでストップウオッチ針を早送りし、その後止まる。
2. ボタンⒷでストップウオッチをリセット。

ストップウオッチの操作

＜通常の計測＞

Ⓐ ━ Ⓐ　Ⓑ
スタート　ストップ　リセット

＜時間計測を積算で行う場合＞

Ⓐ ━ Ⓐ　Ⓐ ･････ Ⓐ　Ⓑ
スタート　ストップ　再スタート　ストップ　リセット

※再スタートとストップは、ボタンⒶを押すことによって何回でも繰り返すことができます。

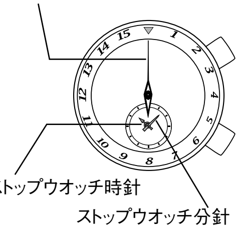
＜途中経過（スプリットタイム）を計測する場合＞

Ⓐ ━ Ⓑ ━ Ⓑ ･････ Ⓐ　Ⓑ
スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット

※スプリットタイムの計測と解除はボタンⒷを押すことによって何回でも繰り返すことができます。

＜2 人のタイムを計測する場合＞

Ⓐ ━ Ⓑ ━ Ⓐ ━ Ⓑ　Ⓑ
スタート　1 人目のタイム　2 人目のゴール　2 人目のタイム　リセット



重要な留意点：時計のモードがストップウオッチモードでないときにストップウオッチの計測が12時間を超えるときは、次の手順を実施してください。

時計のモードがストップウオッチモードに戻ると、ストップウオッチのすべての針は0の位置にリセットされます。ただし、次に使うときは、必ずボタンⒶとⒷを押してストップウオッチの動作（スタート／ストップ／リセット）をテストしてください。

※ストップウオッチは、計測が12時間を超えると自動的に止まるように設計されています。時計のモードがストップウオッチモードでないときにストップウオッチの計測が12時間を超えると、上記の手順を行うことが必要になります。

アラームモード

＜ワンタイムアラーム＞

●ワンタイムアラームは時刻モードで設定します。
●ワンタイムアラームは、設定した時刻に1回だけ鳴り、自動的に解除されます。
●約12時間先までの時刻に1分単位で設定できます。

＜デイリーアラーム＞

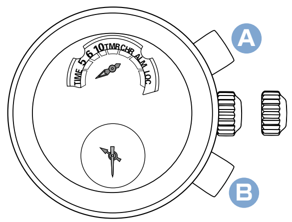
●デイリーアラームは、設定した時刻に毎日鳴ります。
●デイリーアラームはアラームモードで設定します。
●設定したアラーム時刻は何回でも使用できます。
●サウンドデモンストレーション機能でアラーム音を試聴できます。

モード針	ワンタイムアラーム	デイリーアラーム
TIME(時刻モード)	設定可能	オフ
ALM(アラームモード)	設定不可能	オン

※ワンタイムアラームは時刻モードでのみ使用できます。

●ワンタイムアラームの使いかた

◆ワンタイムアラームは時刻モードで使用します。
◆ワンタイムアラームは、約12時間先までの時刻に設定できます。



※小時計の2つの針はワンタイムアラームの時刻を示します。

りゅうず　りゅうずを1段目に、引き出してください。
▼
Ⓐ　ボタンⒶを押して、モード針をTIME（時刻）モードに合わせます。
▼
りゅうず　りゅうずを通常位置まで押し込みます。
▼
Ⓑ　ボタンⒷを押して、小時計をワンタイムアラーム時刻に合わせます。

※ボタンⒷを押すごとに小時計の針が1分進みます。ボタンⒷを押し続けると、小時計の針は早送りします。

設定が完了したら、そのまま時計をはめてください。

※アラーム時刻が現在時刻と一致すると、アラームは自動的に解除されます。
※時計をはめているときは、ボタンⒷを押さないように注意してください。ボタンⒷを押すと設定済みのアラーム時刻が進むことがあります。
※時刻モードを別のモードに切り替えると、ワンタイムアラームは自動的に解除されます。

●鳴っているワンタイムアラームを手動で止めるには

アラーム設定時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続けます。鳴っているアラームを途中で止める場合は、ボタンⒶ、ボタンⒷのいずれかを押してください。

※ワンタイムアラームは、1回鳴ると自動的に解除されます。

●ワンタイムアラームを修正または解除するには

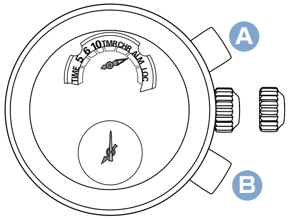
ボタンⒷを押して、ワンタイムアラームの設定時刻を修正します。
ボタンⒷを押し続けると、小時計の針は早送りします。

ワンタイムアラームを解除するには、次の2つの方法のどちらかで行います。

- ●ボタンⒷを押してアラーム時刻を現在時刻と一致させてください。また、簡単な方法として、ボタンⒷを押し続け、小時計の時分針を早送りすると、現在時刻で自動的に止まるので、そこでボタンを離す方法があります。
- ●時刻モードから別のモードに変更します。

●デイリーアラーム

◆デイリーアラームはアラームモードで使用します。
◆デイリーアラームは12時間制で設定できます。



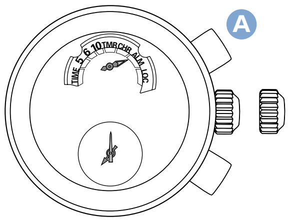
※小時計の2つの針はデイリーアラーム時刻を示します。

りゅうず：りゅうずを1段目に、引き出してください。
▼
Ⓐ：ボタンⒶを押して、モード針をALM（アラーム）モードに合わせます。
▼
Ⓑ：ボタンⒷを押して、小時計をデイリーアラーム時刻に合わせます。
※ボタンⒷを押すごとに小時計の針が1分進みます。ボタンⒷを押し続けると、小時計の針は早送りします。
※デイリーアラームは12時間制で設定できます。
▼
りゅうず：設定が完了したら、りゅうずを通常位置まで押し込みます。
※りゅうずを引き出したままでは、アラームは鳴りません。

●鳴っているデイリーアラームを手動で止めるには

アラーム設定時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続けます。鳴っているアラームを途中で止める場合は、ボタンⒶ、ボタンⒷのいずれかを押してください。

●サウンドデモンストレーション機能（アラーム音の試聴）

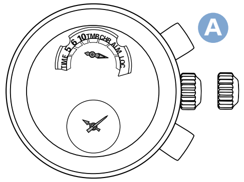


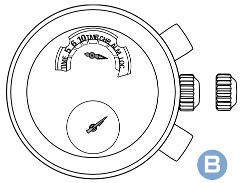
りゅうず：りゅうずを1段目に、引き出してください。
▼
Ⓐ：ボタンⒶを押して、モード針をALM（アラーム）モードに合わせます。
▼
りゅうず：りゅうずを通常位置まで押し込みます。
▼
Ⓐ：ボタンⒶを2秒以上押し続けてください。押し続けている間、アラーム音の試聴ができます。

ローカルタイムモード

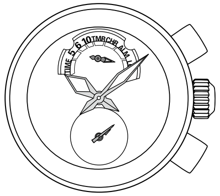
◆小時計で他のタイムゾーンの時刻を表示します。
◆デュアルタイム表示により、基本時計と小時計で、2つの地域の時刻を表示することができます。

●ローカルタイムの合わせかた





りゅうず：りゅうずを1段目に、引き出してください。
▼
Ⓐ：ボタンⒶを押して、モード針をLOC（ローカルタイム）モードに合わせます。
※小時計は現在時刻を表示します。
▼
Ⓑ：ボタンⒷを押して、ローカルタイムの時刻に合わせます。
※ボタンⒷを押すごとに小時計の針が1分進みます。ボタンⒷを押し続けると、小時計の針は早送りします。
※ローカルタイムは12時間制で設定できます。
※小時計は他のタイムゾーンの時刻を表示します。
▼



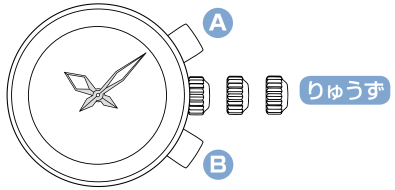
りゅうず　りゅうずを通常位置まで押し込みます。

電池交換後のお願い（システムリセット）

電池交換後、または万一異常な表示になった場合、以下の操作を行ってください。時計内部がシステムリセットされ、正常に機能するようになります。

●システムリセットのしかた

1. りゅうずを2段目に引き出します。
2. ボタンⒶとボタンⒷを同時に押します。
3. りゅうずを通常位置に戻し、通常運針になっているかを確認してください。



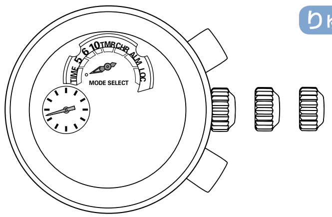
※システムリセット後は、初期状態になりますので、時刻合わせおよびストップウオッチ針の「0位置合わせ」を行ってください。
「針位置合わせ」P.36と「時刻モード」P.11を参照してください。

針位置合わせ

（モード針、センター針、小時計の2つの針）

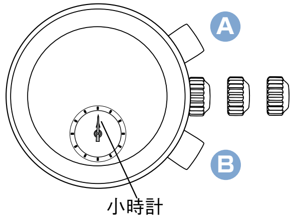
◆針位置合わせは、ストップウオッチ機能またはタイマー機能を使う場合に針の位置がずれているとき、電池交換後、またはシステムリセット後に行う必要がある操作です。例えば、ストップウオッチをリセットした後でも、針が0位置を指していない場合などに行います。針位置合わせを行った後は、時刻合わせが必要になります。

●モード針、センター針、および小時計の2つの針の位置を合わせるには



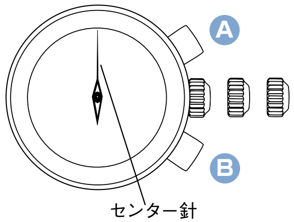
りゅうず　りゅうずを2段目に、引き出してください。
小秒針がその場で止まります。
▼

※タイマー計測中、またはストップウオッチ計測中にりゅうずを引き出すと、強制的に計測は停止し、タイマーまたはストップウオッチはリセットされます。



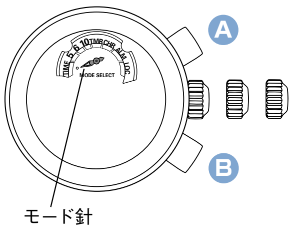
Ⓐ　ボタンⒶを約5秒間押し続けてください。小時計の2つの針が動き始めます。
▼

Ⓑ　ボタンⒷを押して、小時計の2つの針を基準位置の12時00分に合わせます。ボタンⒷを押し続けると、小時計の針は早送りします。
▼



Ⓐ　ボタンⒶを押すと、センター針が1周回ります。
▼

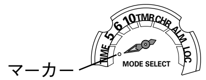
Ⓑ　ボタンⒷを押して、センター針を0位置に合わせてください。
▼
ボタンⒷを押し続けると、センター針は早送りします。



Ⓐ ボタンⒶを押すと、モード針が1周回ります。

▼

Ⓑ ボタンⒷを押して、モード針を基準位置のTIME（時刻）モードに合わせます。
ボタンⒷを押し続けると、モード針は早送りします。
※モード針は、TIMEのマーカー位置に正確に合わせてください。



すべての設定が完了したら、りゅうずを通常位置まで押し込みます。

※針位置合わせを行ったあとは時刻合わせをする必要があります。
●「時刻の合わせかた」P.11を参照してください。

ご注意いただきたいこと

アフターサービスについて

●保証と修理について

・修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
・保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

●補修用性能部品について

・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

●点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

・長くご愛用いただくために、3年～4年に1度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。
点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
・点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

お手入れについて

●日ごろからこまめにお手入れしてください

・りゅうずを引き出して洗わないでください。

・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。

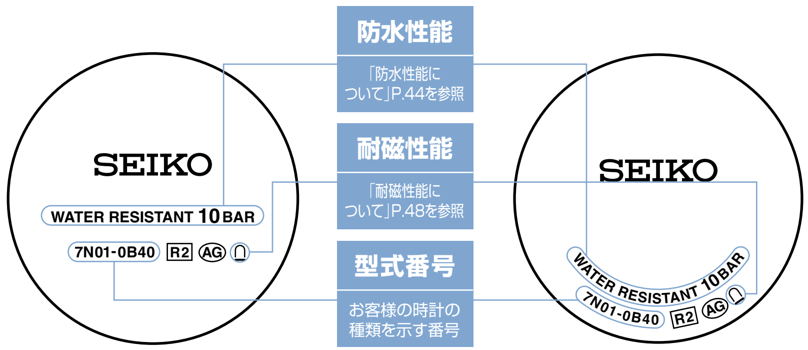
・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
→ 性能と型式の確認　P.43　防水性能について　P.44

●りゅうずは時々回してください

・りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。

・ねじロック式りゅうずの場合も同様です。
→ りゅうずについて　P.8

●時計の裏ぶたでも性能と型式の確認ができます



※上記の図は例であり、お買上げいただいた時計とは異なります。

防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を
下記の表でご確認の上ご使用ください。
（「P.43」をご覧ください）

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法	
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。	
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。	⚠ 警告　水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で 5 気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。	
WATER RESISTANT 10（20）BAR	日常生活用強化防水で 10（20）気圧防水です。	空気ボンベを使用しないスキンダイビングに使用できます。	

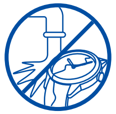
⚠警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください

スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウオッチをご使用ください。

⚠注意



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

⚠注意



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。

※ 万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

耐磁性能について（磁気の影響）

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より １０ｃｍ以上遠ざける必要があります。
	磁気製品より ５ ｃｍ以上遠ざける必要があります。（JIS１ 種）
	磁気製品より １ ｃｍ以上遠ざける必要があります。（JIS2 種）

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



携帯電話
（スピーカー部）



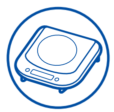
AC アダプター



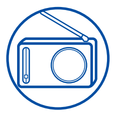
バッグ
（磁石の止め金）



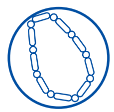
交流電気かみそり



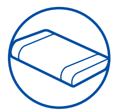
電磁調理器



携帯ラジオ
（スピーカー部）



磁気ネックレス



磁気健康枕

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いと
バンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

●金属バンド

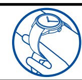
- ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。）
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- 万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

●皮革バンド

- 水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- 水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- 直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- 色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- 時計本体が日常生活用強化防水10（20）気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

●ポリウレタンバンド

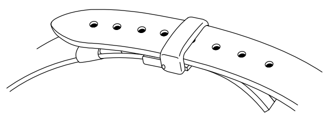
- 光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- 特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- 汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。）
- 弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

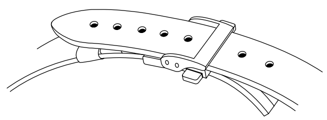
皮革バンド用三つ折れ式中留（なかどめ）の使いかた

皮革バンドには、調整可能な三つ折れ式中留を用いたものがあります。
お買い上げの時計の中留が、下記のいずれかにあてはまる場合は、
それぞれの操作方法を参照してください。

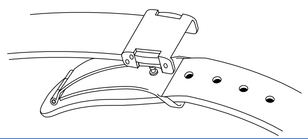
A Aタイプ →P.53



B Bタイプ →P.54

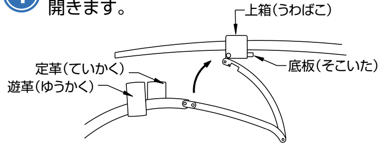


C Cタイプ →P.56

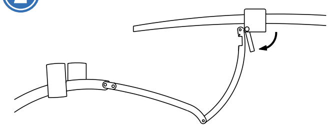


A Aタイプの使いかた

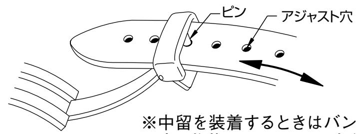
1. バンドを定革、遊革から抜いて、中留を開きます。



2. 上箱の底板を下に開きます。

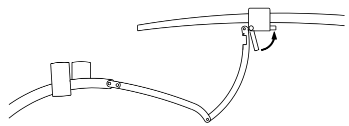


3. ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴にもう一度入れます。



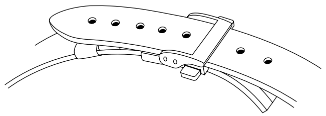
4. 底板を閉めます。

※底板を押しこみ過ぎないようにしてください。



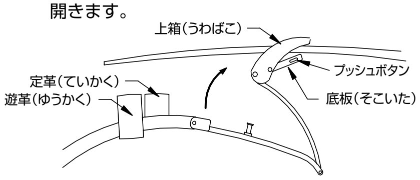
※中留を装着するときはバンド剣先（先端）を
定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めてください。

B Bタイプの使いかた

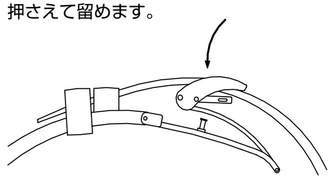


・着脱のしかた

① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。

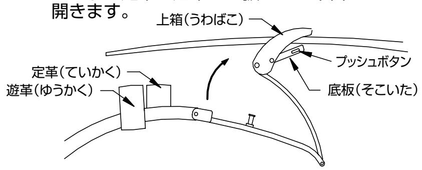


② バンドの剣先（先端）を定革・遊革に入れてから、上箱を上からしっかり押さえて留めます。

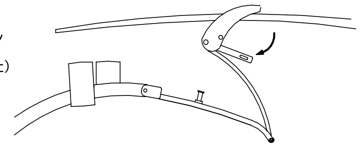


・バンドの長さを調節するには

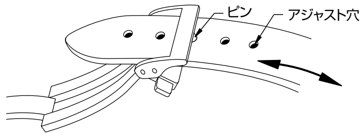
① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。



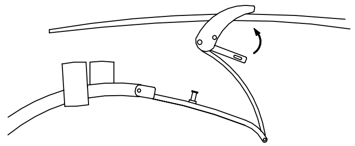
② もう一度プッシュボタンを押し、底板を下に開きます。



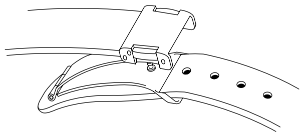
③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。



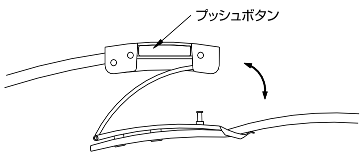
④ 底板を閉めます。



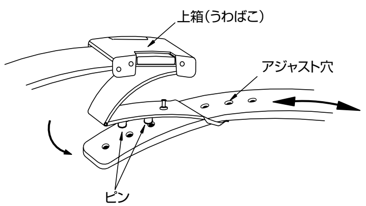
C Cタイプの使いかた



① プッシュボタンを両側から押しながら中留を開きます。



② ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。上箱を押して、中留を留めます。



ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間（約10分間：500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約3時間～5時間）発光します。光が当たらなくなってから輝度（明るさ）は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。（目の暗順応）

※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）塗料です。

＜照度のめやすについて＞

環　境		明るさ（照度）のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内（昼間窓際）	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000 ～ 3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明 （白色蛍光灯 40W の下で）	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス（通常室内レベル）
	4m	250 ルクス

こんなときには

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	電池の容量がなくなった。	お買い上げ店に、電池交換をご依頼ください。
小秒針が２秒運針している。	電池寿命切れが近づいた。	
時計が一時的に進む／遅れる。	暑いところ、または、寒いところへ放置した。	常温に戻れば元の精度に戻ります。時計を合わせ直してください。この時計は気温５℃～35℃で腕につけたときに安定した時間精度が得られるように調整してあります。
	磁気を発生するもののそばに置いた。	磁気を遠ざけると、元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。時計が強い振動が加えられた。	時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
ストップウオッチをリセットしても針が０位置に戻らない。	磁気の影響を受けたか、強い衝撃や振動にさらされた。	モード針、センター針、および小時計の２つの針の０位置合わせしてください。そして、時刻を合わせ直してください。「針位置合わせ」P.36 と「時刻モード」P.11 を参照。
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店に相談してください。
日中、日付が切り替わる。	時刻合わせが12時間ずれている。	12 時間針を進めて、時刻と日付を正しく合わせ直してください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

使用電池・電池寿命・精度について

機種は裏ぶたでご確認いただけます。
(「P.43」をご覧ください)

機種 型式番号の前4桁（例:7T84-0AC0）	使用電池 SR	電池寿命	精度（平均月差）
7T84	927W	約3年	±15秒

○上記の電池寿命は新しく電池を入れたときのものです。
　※ただし、ヨットタイマーを1週間に6時間、タイマーを1日に15分、ストップウオッチを1日に60分、アラームを1日に40秒という基準を超えて使用すると、上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
○お買い上げ時の電池は検査用のモニター電池ですので、上記期間より早く切れる事があります。
○秒針が2秒おきに動くのは、電池が切れる合図です。この場合でも時刻は正常です。
○精度は常温（5℃～35℃）において腕につけた場合のものです。
○作動温度範囲は－10℃～＋60℃です。

製品仕様

1　**水晶振動数**……32,768Hz
2　**精度**……平均月差±15秒（気温5℃～35℃において腕につけた場合）
3　**作動温度範囲**……-10℃～+60℃
4　**駆動方式**……ステップモーター式：4個
5　**表示内容**
　時刻機能　時、分、小秒針（1秒ステップ）
　ヨットタイマー/タイマー機能　センター針：タイマー専用1分ステップと1秒ステップ（残り時間が1分未満のとき）
　小時計：1秒ステップ
　ストップウオッチ　センター針：1/5秒ステップ
　小時計（時針と分針）：1分ステップ
　アラーム　小時計：デイリーアラーム時刻
　ローカルタイム　小時計：1分ステップ
6　**電池**……小型酸化銀電池SR927W：1個
7　**電池寿命**……約3年
　ただし、ヨットタイマーを1週間に6時間、タイマーを1日に15分、ストップウオッチを1日に60分、アラームを1日に40秒以内の使用。
8　**電子回路**……発振、分周、駆動回路（C-MOS-IC）：1個

※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

HANDLING CAUTIONS

⚠WARNING

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.

・Immediately stop wearing the watch in following cases.

○ If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
○ If the pins protrude from the band
※ Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.

・Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children.

Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the accessories.
If a baby or a child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.

・Do not remove the battery from the watch.

Replacement of the battery requires professional knowledge and skill. Please ask the retailer from whom the watch was purchased for replacement of the battery.
Do not recharge the battery. Doing so can cause heat generation, bursting or ignition.

Thank you very much for choosing a SEIKO watch. For proper and safe use of your SEIKO watch, please read carefully the instructions in this booklet before using "it".

Keep this manual handy for easy reference.

※ Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased. If you cannot have your watch repaired by the retailer from whom the watch was purchased because you received the watch as a gift, or you moved to a distant place, please contact SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.

※The preinstalled battery is used to check the function and performance of the watch. You will be charged for battery replacement even if the battery runs down within the guarantee period.

※If your watch has a protective film for preventing scratches, make sure to peel it off before using the watch. If the watch is used with the film on it, dirt, sweat, dust, or moisture may be attached to the film and may cause rust.

⚠CAUTIONS

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.

・Avoid wearing or storing the watch in the following places.

○ Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
○ Places where the temperature drops below 5°C or rises above 35°C for a long time
○ Places of high humidity
○ Places affected by strong magnetism or static electricity
○ Dusty places
○ Places affected by strong vibrations
※ For watches with batteries, do not leave a dead battery in the battery compartment for a long time as it may cause battery leakage.

・If you observe any allergic symptoms or skin irritation

Stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist.

・Other cautions

○ Replacement of the metal band requires professional knowledge and skill. Please ask the retailer from whom the watch was purchased for replacement of the metal band, as there is a risk of hand or finger injury and fear of losing parts.
○ Do not disassemble or tamper with the watch.
○ Keep the watch out of the reach of babies and children. Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.
○ When disposing of used batteries, follow the instructions of your local authorities.
○ If your watch is of the fob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other parts of your body.

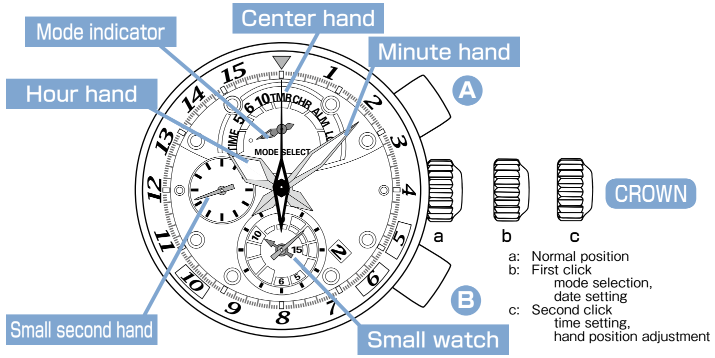
CONTENTS

HOW TO USE THE WATCH

FEATURES

- Time is indicated by the hour, minute and small second hands.
- Yacht timer combines the functions of a count down timer and a stop watch that starts operating automatically when the timer finishes counting down. This function is particularly useful in yacht racing. 5-, 6- & 10-minute preset timers are available.
- The timer can be set to a maximum of 15 minutes in 1-minute increments.
- The stopwatch can measure 12 hours in 1/5-second increments. When the measurement reaches 12 hours, the stopwatch automatically stops.
- Single time alarm: sounds only once at a designated alarm time within 12 hours. Regular alarm: set to sound at a designated time everyday on a 12-hour basis.
- The time in another time zone area can be shown in 1-minute increments, offering a dual time display.

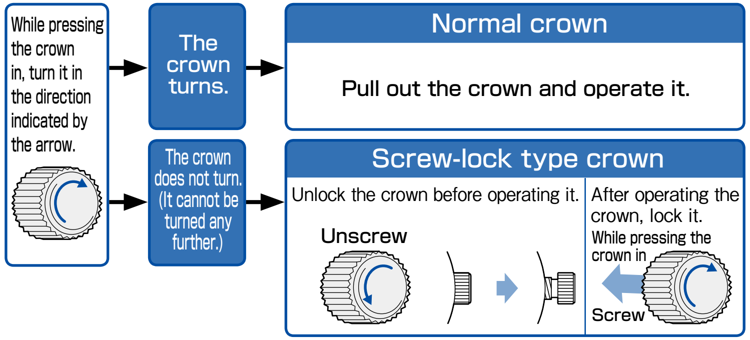
DISPLAY & BUTTONS



※Some models may have a screw lock type crown. If your watch has a screw lock type crown, refer to CROWN (→ P.70) .
※The illustrations in the following sections of this manual may be simplified for the purpose of explanation.

CROWN

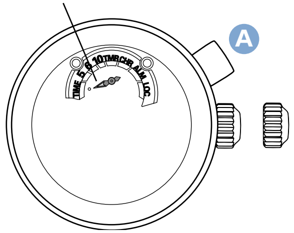
There are two types of crown, a normal crown and a screw-lock type crown.
Please check the type of the crown of your watch.



※If your watch has a screw-lock type crown, the crown screws into the watch to prevent malfunction and increase water resistance.
※Be careful not to screw the crown in by force as it may damage the slots of the crown.

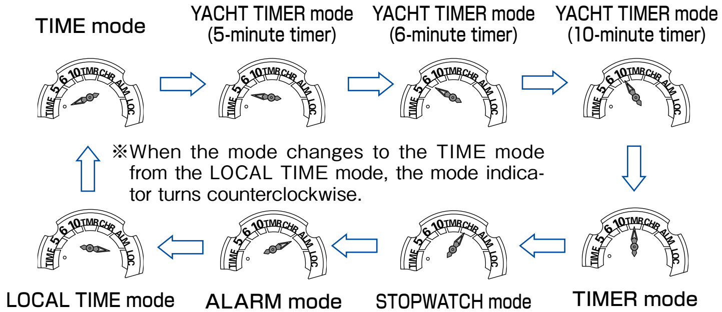
MODE CHANGE

Mode indicator



CROWN Pull out to first click.
▼
Ⓐ Press to set the mode indicator pointing at your desired mode.
▼
CROWN Upon completion of selecting the desired mode, push back in to normal position.

With each press of button Ⓐ, the mode indicator turns in the following order to show the selected mode.



※When the mode changes to the TIME mode from the LOCAL TIME mode, the mode indicator turns counterclockwise.

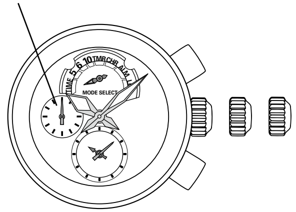
※While any one of the timers among 5-minute, 6-minute, 10-minue in the YACHT TIMER mode or the timer in TIMER mode is measuring, you cannot use another timer at the same time. Therefore, the mode indicator will not move to indicate any other timer modes unless it is stopped.

TIME MODE

- Time setting procedures include hand settings of the main watch and small watch to the current time.
- The hands should be correctly aligned to the 0 position (initial position) before starting to set the time. If they are not correctly aligned to the 0 position, it is necessary to correct their alignment before setting the time. To correct the hand alignment, refer to HAND POSITION ADJUSTMENT (→ P.98).

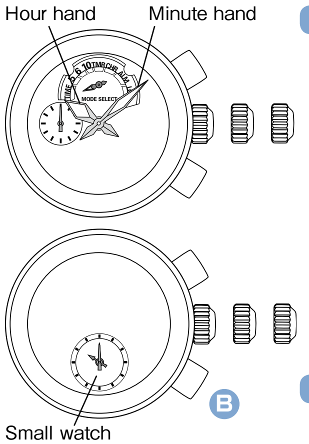
●How to set the time (main watch and small watch)

Small second hand



CROWN Pull out to second click when the small second hand is at the 12 o'clock position.
▼
The small second hand will stop on the spot.

※If the crown is pulled out while the timer or stopwatch is measuring time, the measurement will be forcibly terminated and the timer or the stopwatch will be reset.



CROWN Turn to set the time of the main watch.

▼

※The moment the date changes is midnight. When setting the hour hand, be sure that AM/PM is set correctly.
※While doing so, set the minute hand 4 to 5 minutes ahead of the correct time, and then slowly move it back to the exact minute(s).

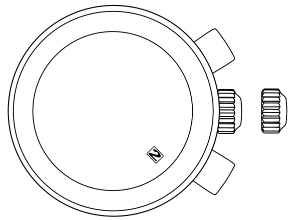
B Press to set the time for the small watch. With each press of button Ⓑ the small watch hands will advance 1 minute. Pressing and holding button Ⓑ will advance the small watch hands rapidly.

▼

CROWN Upon completion of all settings, push back in to normal position simultaneously with a time signal.

●How to set the date

◆Date setting should always be carried out after the time is correctly set.
◆Manual date adjustment is required on the first day after a month that has less than 31 days: February, April, June, September and November.



CROWN Pull out to first click.

▼

CROWN Turn clockwise to set the date.

※While you are setting the date, do not press either button Ⓐ or Ⓑ, as pressing button Ⓐ or Ⓑ while the crown is at the first click position can change the mode and the settings in some modes.
※Do not set the date during any time between 9:00 P.M. and 1:00 A.M. Date setting during this time period may cause failure of date change on the following day.

▼

CROWN Push back in to normal position.

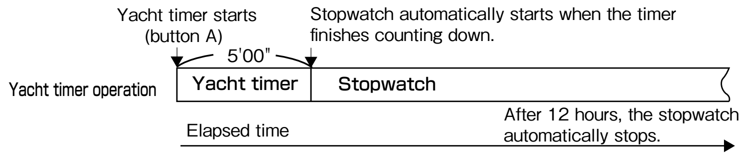
YACHT TIMER MODE

◆Yacht timer combines the functions of a count down timer and a stop watch that starts operating automatically when the timer finishes counting down. This function is particularly useful in yacht racing.

●Yacht timer operation

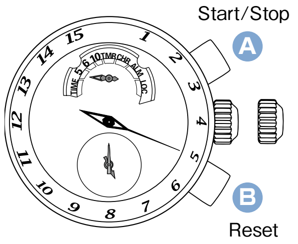
- ●Upon activating the yacht timer function, the selected yacht timer starts counting down in 1-second increments.
- ●The remaining time is indicated by the center hand and the two hands of the small watch, which turn counterclockwise while the yacht timer is counting down.
- ●When the yacht timer finishes counting down, the beep will sound indicating that time is up and the measurement is automatically switched to the stopwatch.
- ●The stopwatch can measure 12 hours in 1-second increments. When the measurement reaches 12 hours, the stopwatch automatically stops.

※The illustration below shows the operation of yacht timer using a 5-minute yacht timer as an example.



※Only one yacht timer can be used at one time.
※You cannot change the selected timer while it is working. To change the timer, it is necessary to stop the currently working timer first, and then change to another.
※When the timer is changed to another timer, the previously selected timer will be automatically cancelled.

●How to use the yacht timer



CROWN Pull out to first click.

▼

A Press to set the mode indicator pointing at your desired yacht timer.

▼

CROWN Push back in to normal position.

▼

A Press to start the yacht timer.

※In a yacht race, start the yacht timer simultaneously with the warning signal.

※The operation method of the yacht timer is the same as that of the timer in the TIMER mode.

<TIMER OPERATION>

Ⓐ ━ Ⓐ Ⓑ

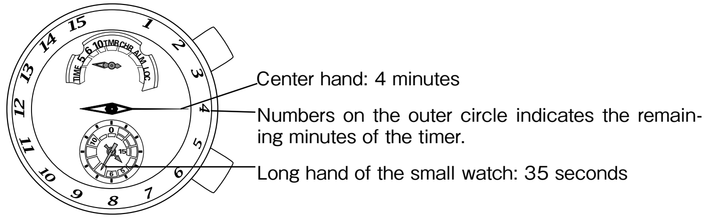
START STOP RESET

※Yacht timer can be reset only when the timer is stopped.

●How to read the yacht timer measurement

◆The center hand indicates the remaining minutes and the long hand of the small watch indicates the remaining seconds. When the remaining time is shorter than 60 seconds, the center hand also begins to countdown in one second increments.

Example: Display when the remaining time is 4 minutes and 35 seconds in a 5-minute yacht timer measurement



※The center hand and the two hands of the small watch turn counterclockwise while the yacht timer is counting down.
※When the yacht timer finishes counting down, the time up beep will sound.
※The short hand of the small watch also indicates the remaining minutes.
※The display of the yacht timer is the same with that of the timer in the TIMER mode.

●Automatic relay function of the stopwatch

◆When the yacht timer finishes counting down, the measurement is automatically switched to the stopwatch.
◆The stopwatch can measure 12 hours in 1-second increments. When the measurement reaches 12 hours, the stopwatch automatically stops.
◆Measured time is indicated by the center hand and the hour and minute hands of the small watch.
◆Split time measurement is possible.

●How to reset the yacht timer

To reset the yacht timer, it is necessary to stop the stopwatch.

While the STOPWATCH hands are moving

1.Press button Ⓐ to stop the stopwatch.
2.Press button Ⓑ to reset the yacht timer.

While the STOPWATCH hands are stopped

[When the stopwatch is stopped]

1.Press button Ⓑ to reset the yacht timer.

[When the split time measurement is displayed while the stopwatch is measuring.]

1.Press button Ⓑ to fast-forward the stopwatch hands. Subsequently the stopwatch hands return to the ongoing measurement movement.
2.Press button Ⓐ to stop the stopwatch.
3.Press button Ⓑ to reset the yacht timer.

[When the split time measurement is displayed and the stopwatch is stopped.]

1.Press button Ⓑ to fast-forward the stopwatch hands. Subsequently the stopwatch hands will stop.
2.Press button Ⓑ to reset the stopwatch.

YACHT TIMER-STOPWATCH OPERATIONAL FLOW

<STANDARD MEASUREMENT FOLLOWING YACHT TIMER>

Yacht timer finishes counting down. Stopwatch automatically starts. Ⓐ STOP Ⓑ RESET

<ACCUMULATED ELAPSED TIME MEASUREMENT FOLLOWING YACHT TIMER>

Yacht timer finishes counting down. Stopwatch automatically starts. Ⓐ STOP ▪▪▪▪ Ⓐ RESTART ━ Ⓐ STOP Ⓑ RESET

※Restart and stop can be repeated as many times as required by pressing button A.

<SPLIT TIME MEASUREMENT FOLLOWING YACHT TIMER>

Yacht timer finishes counting down. Stopwatch automatically starts. Ⓑ SPLIT ▪▪▪▪ Ⓑ SPLIT RELEASE ━ Ⓐ STOP Ⓑ RESET

※Measurement and release of the split times can be repeated as many times as required by pressing button B.

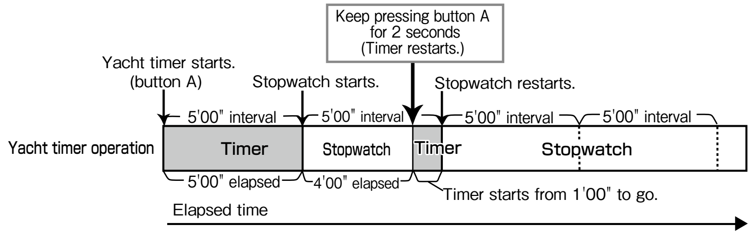
<MEASUREMENT OF TWO COMPETING YACHTS>

Yacht timer finishes counting down. Stopwatch automatically starts. Ⓑ FINISH TIME OF 1ST COMPETITOR ━ Ⓐ 2ND COMPETITOR FINISHES ━ Ⓑ FINISH TIME OF 2ND COMPETITOR Ⓑ RESET

●Restart setting function

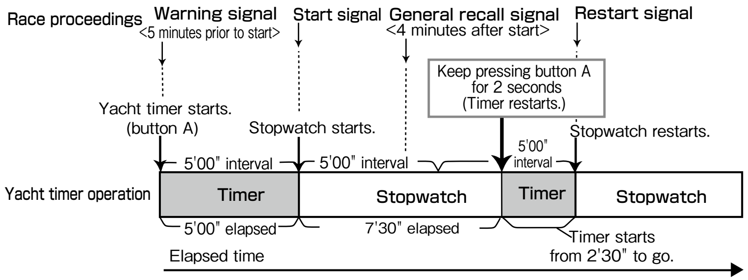
◆Yacht timer mode features a restart setting function, which enables you to restart the measurement correctly and easily after an interruption during the stopwatch measurement. This function is particularly useful when you have to restart after a premature start in a yacht race.
◆The restart setting function can be used anytime while the stopwatch is measuring following the yacht timer counting.
◆Pressing button Ⓐ for approximately 2 seconds will activate the restart setting function.
◆Restart of the measurement will be made at regular intervals from the initial start of the measurement.
◆The intervals between the initial start of the measurement and the subsequent restarts are automatically decided according to the selected yacht timer which had finished its counting before the stopwatch had started.

Example:When the restart setting function is activated during the stopwatch measurement after the 5-minute yacht timer finishes counting down, and 4 minutes has elapsed since then.



※For the 5-minute yacht timer, restarts of the stopwatch occur at 5-minute intervals from the start of measurement.
※For the 6-minute or 10-minute yacht timer, restarts of the stopwatch occur at 6-minute or 10-minute intervals respectively from the start of measurement.

◆For actual yacht racing, the restart setting function can be used in 5 minute yacht timer measurements as follows:
<Example of use of the restart setting function in racing where the time from the warning signal to start signal is defined as 5 minutes, and the time from the start signal to restart signal is defined as 10 minutes>

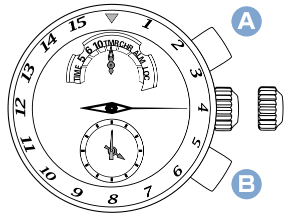


※The general recall signal is a signal issued when a number of yachts make false starts or violate racing rules and the race committee is unable to identify or the starting procedures are incorrect.
※For detailed rules on yacht racing, check the appropriate racing rules of each race.

TIMER MODE

◆The timer can be set to a maximum of 15 minutes in 1-minute increments.
◆The remaining time is indicated by the center hand and the two hands of the small watch, which turn counterclockwise while the timer is counting down.
◆When the timer finishes counting down, the beep will sound indicating that the time is up.

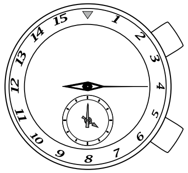
●How to use the timer



※The numbers on the outer circle of the dial indicated by the center hand shows the timer time. (The short hand of the small watch also indicates the timer time.)

CRONW Pull out to first click.
▼
Ⓐ Press to set the mode indicator pointing at the TIMER mode.
▼
Ⓑ Press to set the center hand to show your desired timer time.
※With each press of button Ⓑ, the center hand moves one minute forward, adding one minute to the timer time.
▼
CROWN Push back in to normal position.
Now the timer is ready for use.

Example: Timer mode display when the timer is set for 4 minutes



※If you press button Ⓑ once again after the timer time is set for 15 minutes, the timer time returns to one minute.
※The set timer time will be retained even if the TIMER mode is changed to another mode.

※The operation method of the timer is the same with that of the yacht timer. For details, refer to ● How to use the yacht timer (→ P.78) and ● How to read the yacht timer measurement (→ P.79).
※The automatic relay function of the stopwatch cannot be activated in the TIMER mode.

<TIMER OPERATION>

Ⓐ ━ Ⓐ Ⓑ
START STOP RESET

STOPWATCH MODE

◆The stopwatch can measure up to 12 hours in 1/5-second increments. When the measurement reaches 12 hours, the stopwatch automatically stops.
◆Measured time is indicated by the center hand and the two hands of the small watch.
◆Split time measurement is possible.

●How to reset the stopwatch

While the STOPWATCH hands are moving

1.Press button Ⓐ to stop the stopwatch.
2.Press button Ⓑ to reset the stopwatch.

While the STOPWATCH hands are stopped

[When the stopwatch is stopped]

1.Press button Ⓑ to reset the stopwatch.

[When the split time measurement is displayed while the stopwatch is measuring.]

1.Press button Ⓑ to release the split time display and return to the ongoing measurement movement.
2.Press button Ⓐ to stop the stopwatch
3.Press button Ⓑ to reset the stopwatch

[When the split time measurement is displayed and the stopwatch is stopped.]

1.Press button Ⓑ to release the split time display.
2.Press button Ⓑ to reset the stopwatch.

STOPWATCH OPERATION

<STANDARD MEASUREMENT>

Ⓐ ━ Ⓐ Ⓑ
START STOP RESET

<ACCUMULATED ELAPSED TIME MEASUREMENT>

Ⓐ ━ Ⓐ Ⓐ ▪▪▪▪▪ Ⓐ Ⓑ
START STOP RESTART STOP RESET

※Restart and stop can be repeated as many times as required by pressing button A.

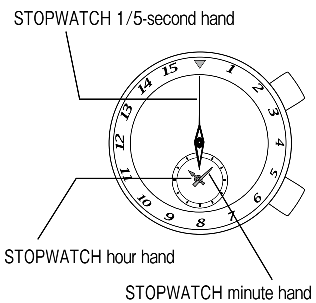
<SPLIT TIME MEASUREMENT>

Ⓐ ━ Ⓑ ━ Ⓑ ▪▪▪▪▪ Ⓐ Ⓑ
START SPLIT SPLIT RELEACE STOP RESET

※Measurement and release of the split times can be repeated as many times as required by pressing button B.

<MEASUREMENT OF TWO COMPETITORS>

Ⓐ ━ Ⓑ ━ Ⓐ ━ Ⓑ Ⓑ
START FINISH TIME OF 1ST COMPETITOR 2ND COMPETITOR FINISHES FINISH TIME OF 2ND COMPETITOR RESET



Important reminder: if the stopwatch measurement exceeds 12 hours while the watch is in any other mode than the stopwatch mode, make sure to carry out the following procedures.

When the mode returns to the stopwatch mode, all the STOPWATCH hands are reset to the 0 position. However, before using it next time, make sure to press Button Ⓐ and Ⓑ to test the operation of the stopwatch (START/STOP/RESET).

※The stopwatch is designed to automatically stop when the measurement exceeds 12 hours. If this happens while the watch is in any other mode than the stopwatch mode, it is necessary to carry out the above procedures.

ALARM MODE

<Single-time alarm>

- The single-time alarm is set in the TIME mode.
- The single-time alarm sounds only once at a designated alarm time and it is automatically disengaged.
- The alarm time can be set within 12 hours from the current time in 1-minute increments.

<Regular alarm>

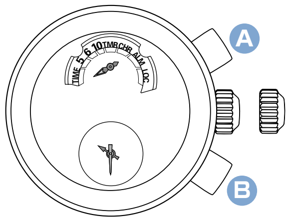
- The regular alarm can be set to sound at a designated time everyday.
- The regular alarm is set in the ALARM mode.
- The set alarm time can be used as many times as required.
- You can preview the alarm sound by using the sound demonstration function.

Mode indicator	Single-time alarm	Regular alarm
TIME(Time Mode)	Settable	OFF
ALM(Alarm Mode)	Unsettable	ON

※The single-time alarm can be used only in the TIME mode.

●How to use the single-time alarm

◆The single-time alarm is used in the TIME mode.
◆The single-time alarm time can be set within 12 hours from the current time.



※The two hands of the small watch show the single-time alarm time.

CROWN Pull out to first click.
▼
Ⓐ Press to set the mode indicator pointing at the TIME mode.
▼
CROWN Push back in to normal position.
▼
Ⓑ Press to set the small watch to show your desired single-time alarm time.
※With each press of button Ⓑ the small watch hands will advance 1 minute. Pressing and holding button Ⓑ will advance the small watch hands rapidly.
After completing the setting, wear the watch as it is.

※If the alarm time is set to the current time, the single-time alarm is automatically canceled.
※Be careful not to press button Ⓑ while wearing the watch, as pressing button Ⓑ may advance the set alarm time.
※If you change the TIME mode to another, the single-time alarm will be automatically canceled.

●How to stop the single-time alarm manually while sounding

The single-time alarm sounds for 20 seconds at the designated time. To stop the single-time alarm manually while sounding, press either button Ⓐ or Ⓑ.
※The single-time alarm will be automatically canceled once it sounds at the designated time.

●How to change or cancel the single-time alarm

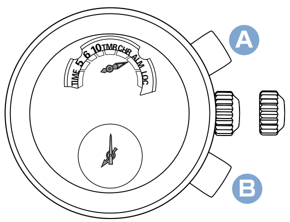
Press button Ⓑ to change the single-time alarm setting.
Keep pressing button Ⓑ to fast-forward.

To cancel the single-time alarm, chose either of the following two methods.

- Press button Ⓑ to set the alarm time to the current time. The easy way to do this is to keep pressing button Ⓑ to fast-forward the small watch hands which will automatically stop when they reach the current time, and then release the button Ⓑ.
- Change the TIME mode to another mode.

●Regular alarm

◆The regular alarm is used in the ALARM mode.
◆The regular alarm can be set on a 12-hour basis.



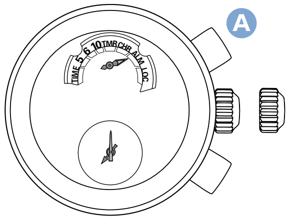
※The two hands of the small watch show the regular alarm time.

CROWN Pull out to first click.
▼
Ⓐ Press to set the mode indicator pointing at the ALARM mode.
▼
Ⓑ Press to set the small watch to show your desired regular alarm time.
※With each press of button Ⓑ the small watch hands will advance 1 minute. Pressing and holding button Ⓑ will advance the small watch hands rapidly.
※The regular alarm can be set on a 12-hour basis.
▼
CROWN Upon completing the alarm setting, push back in to normal position.
※If the crown remains at the first click, the alarm does not sound.

●How to stop the regular alarm manually while sounding

The regular alarm sounds for 20 seconds at the designated time. To stop the regular alarm manually while sounding, press either button Ⓐ or Ⓑ.

●Sound demonstration function (Alarm sound preview)



CROWN ▼ Pull out to first click.

A ▼ Press to set the mode indicator pointing at the ALARM mode.

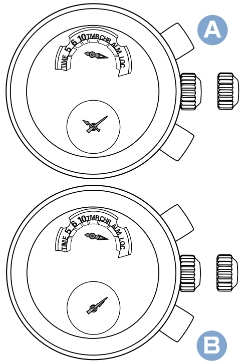
CROWN ▼ Push back in to normal position.

A Press for longer than 2 seconds. The alarm sound can be heard while button Ⓐ is kept pressed.

LOCAL TIME MODE

◆The small watch can be set to show the time in another time zone.
◆Two different times can be shown at the same time using the main watch and the small watch as a dual time display.

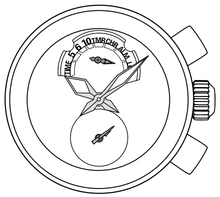
●How to set the local time



CROWN ▼ Pull out to first click.

A ▼ Press to set the mode indicator pointing at the LOCAL TIME mode.
※The small watch shows the current time.

B ▼ Press to set the local time.
※With each press of button Ⓑ the local time hands will advance 1 minute. Pressing and holding button Ⓑ will advance the local time hands rapidly.
※The local time can be set on a 12-hour basis.
※The small watch shows the time in another time zone.



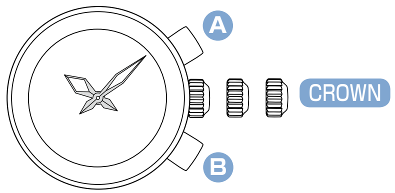
CROWN Push back in to normal position.

NECESSARY PROCEDURE AFTER BATTERY CHANGE (SYSTEM RESET)

After the battery is replaced with a new one, or when an abnormal display appears, follow the procedures below to reset the built-in IC. The watch will resume its normal operation.

●HOW TO RESET THE IC

1. Pull out the crown to the second click.
2. Press button Ⓐ and Ⓑ at the same time.
3. Push the crown back in to normal position and check if the hands move as normal.



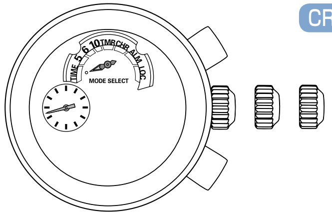
※Resetting the IC will initialize the watch. Before starting to use the watch, it will be necessary to set the time and adjust the STOPWATCH hands to the 0 position.
Refer to HAND POSITION ADJUSTMENT (→ P.98) and TIME MODE sections of this manual (→ P.73).

HAND POSITION ADJUSTMENT

(mode indicator, center hand, hands of the small watch)

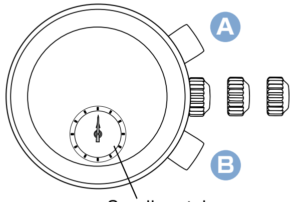
◆Hand position adjustment is a procedure required when the hands are not correctly aligned for use in the STOPWATCH or TIMER functions, or after the battery is changed or the built-in IC is reset. For example, when the hands are not pointing to the 0 position even after the stopwatch is reset. After hand position adjustment is carried out, it is necessary to set the time.

●How to adjust the positions of the mode indicator, center hand and the hands of the small watch



CROWN ▼ Pull out to second click.
The small second hand will stop on the spot.

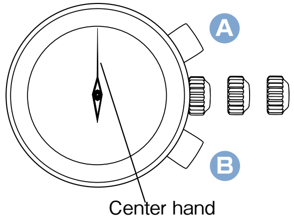
※If the crown is pulled out while the timer or stopwatch is measuring time, the measurement will be forcibly terminated and the timer or the stopwatch will be reset.



Small watch

Ⓐ ▼ Keep pressing for approximately 5 seconds. The small watch hands start moving.

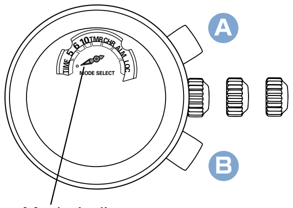
Ⓑ ▼ Press to set the small watch hands to 12 o'clock, which is the initial position of the small watch hands.
Keep pressing to fast-forward.



Center hand

Ⓐ ▼ Press to turn the center hand a full circle.

Ⓑ ▼ Press to set the center hand to the 0 position.
Keep pressing to fast-forward.

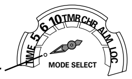


Mode indicator

Ⓐ ▼ Press to turn the mode indicator a full circle.

Ⓑ Press to set the mode indicator pointing at the TIME mode, which is the initial position of the mode indicator.
Keep pressing to fast-forward.
※Set the mode indicator exactly pointing at the dot marker.

dot marker



Upon completion of all settings, push back in to normal position.

※After hand position adjustment is carried out, it is necessary to set the time.
Refer to ● How to set the time (→ P.73).

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

AFTER SERVICE

●Notes on guarantee and repair

- Contact the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER for repair or overhaul.
- Within the guarantee period, present the certificate of guarantee to receive repair services.
- Guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee. Read carefully and retain it.
- For repair services after the guarantee period has expired, if the functions of the watch can be restored by repair work, we will undertake repair services upon request and payment.

●Replacement parts

- SEIKO makes it a policy to typically keep a stock of replacement parts for this watch for 7 years. Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch. Please keep in mind that if original parts are not available, they may be replaced with substitutes whose outward appearance may differ from the originals.

●Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul)

- Periodic inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) is recommended approximately once every 3 to 4 years in order to maintain optimal performance of the watch for a long time. According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate, abrasion of the parts due to contamination of oil may advance or delay the time significantly, or the watch itself may stop. As the parts such as gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture. Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul). For replacement of parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS." When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones.
  When your watch is inspected and adjusted by disassembly and cleaning (overhauled), the movement of your watch may be replaced.

DAILY CARE

●The watch requires good daily care

- Do not wash the watch when its crown is at the extended position.
- Wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth
- After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.
  ※If your watch is rated as "Non-water resistant" or "water resistant for everyday life," do not wash the watch. Do not pour running water directly from faucet onto the watch. Put some water into a bowl first, and them soak the watch in the water to wash it.

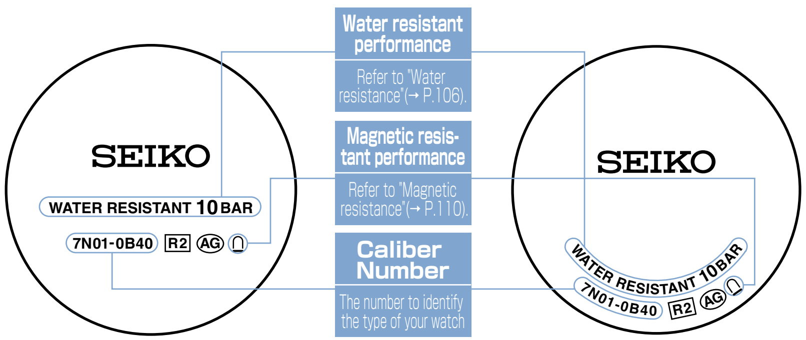
Performance and type → P.105
Water resistance → P.106

●Turn the crown from time to time

- In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.
- The same practice should be applied to a screw-lock type crown.

Crown → P.70

●The case back shows the caliber and performance of your watch



※The figure above is one example. Performance of your watch is different from above sample.

WATER RESISTANCE

Refer to the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.

(Refer to "P.105")

Indication on the case back	Water resistant performance	Condition of use
No indication	Non-water resistance	Avoid drops of water or sweat
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life	The watch withstands accidental contact with water in everyday life. ⚠ WARNING Not suitable for swimming
WATER RESISTANT 5 BAR	Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures	The watch is suitable for sports such as swimming.
WATER RESISTANT 10（20）BAR	Water resistance for everyday life at 10(20) barometric pressures.	The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

⚠WARNING



Do not use the watch in scuba diving or saturation diving.

The various tightened inspections under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on this watch. For diving, use special watches for diving.

⚠CAUTION



Do not pour running water directly from faucet onto the watch.

The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

⚠CAUTION



Do not turn or pull out the crown when the watch is wet.

Water may get inside of the watch.

※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTMER SERVICE CENTER .



Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.

Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.



Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.

Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.

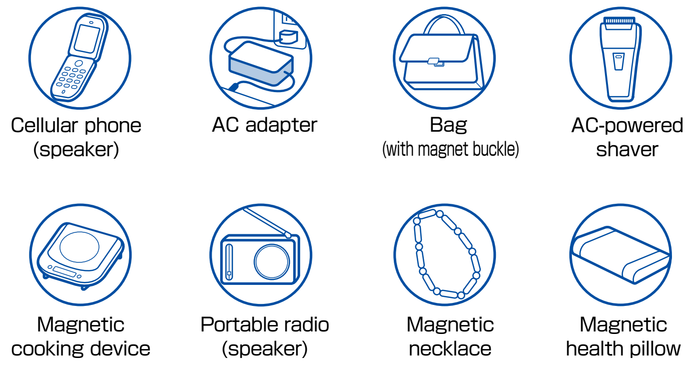
MAGNETIC RESISTANCE

Affected by nearby magnetism,
a watch may temporarily gain or lose time or stop operating.

Indication on the case back	Condition of use
No indication	Keep the watch more than 10 cm away from magnetic products.
	Keep the watch more than 5 cm away from magnetic products. (JIS level-1 standard)
	Keep the watch more than 1 cm away from magnetic products. (JIS level-2 standard)

If the watch becomes magnetized and its accuracy deteriorates to an extent exceeding the specified rate under normal use, the watch needs to be demagnetized. In this case, you will be charged for demagnetization and accuracy readjustment even if it happens within the guarantee period.
The reason why watch is affected by magnetism
The built-in motor is provided with a magnet, which may be influenced by a strong external magnetic field.

Examples of common magnetic products that may affect watches



BAND

The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust. Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.

●Metallic band

- Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
- Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible.
- To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush.
  (Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- Because some titan bracelets use pins made of stainless steel, which has outstanding strength, rust may form in the stainless steel parts.
- If rust advances, pins may poke out or drop out, and the watch case may fall off the bracelet, or the clasp may not open.
- If a pin is poking out, personal injury may result. In such a case, refrain from using the watch and request repair.

●Leather band

- A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.
- Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.
- Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.
- Refrain from wearing a leather band watch other than Aqua Free bands while bathing, swimming, and when working with water even if the watch itself is water-resistant enforced for daily use (10- or 20-BAR water resistant).

●Polyurethane band

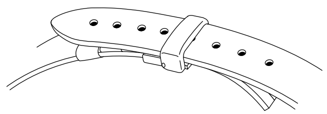
- A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.
- Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.
- Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.
  (Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- When the band becomes less flexible, have the band replaced with a new one. If you continue to use the band as it is, the band may develop cracks or become brittle over time.

Notes on skin irritation and allergy	Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.
Notes on the length of the band	Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist. 

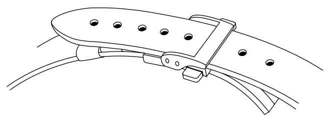
SPECIAL CLASPS

There are 3 type of special clasps as described below;
If the clasp of the watch you purchased is one of them,
please refer to the indications.

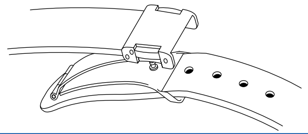
A A Type → page 115



B B Type → page 116

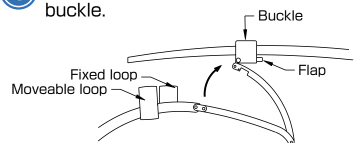


C C Type → page 118

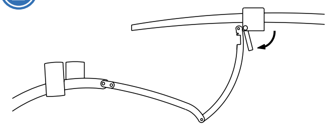


A A Type

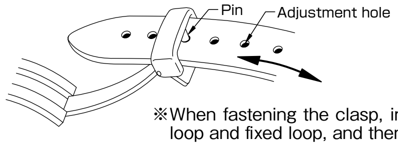
① Lift up the clasp to release the buckle.



② Open the flap.

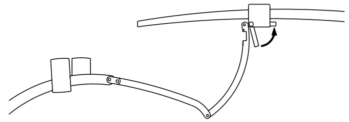


③ Take the pin out of the adjustment hole, adjust the size of the strap by sliding it back and forth, and then put the pin back into the appropriate adjustment hole.



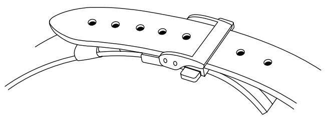
④ Close the flap.

※Do not push the flap in too hand.



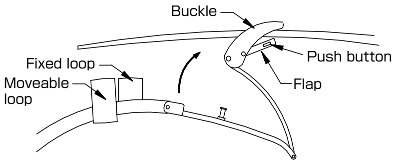
※When fastening the clasp, insert the tip of the band into the movable loop and fixed loop, and then, securely tighten the clasp.

B B Type

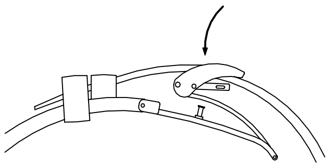


・How to wear or take off the watch

① While pressing the push button on the both sides of the flap, pull the band out of the moveable lop and fixed loop. Then open the clasp.

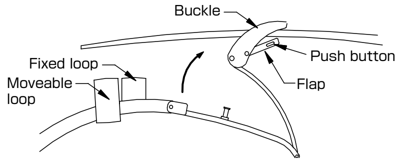


② Place the tip of the band into the moveable loop and fixed loop, and fasten the clasp by pressing the frame of the buckle.

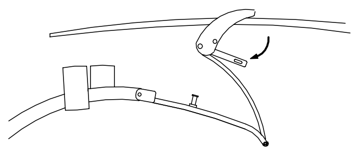


・How to adjust the length of the leather band

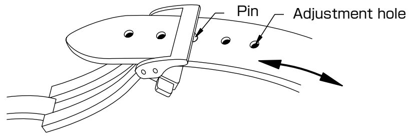
① While pressing the push button on the both sides of the flap, pull the leather band out of the moveable loop and fixed loop. Then open the clasp.



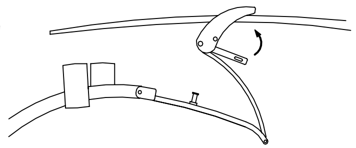
② Press the push buttons again to unfasten the flap.



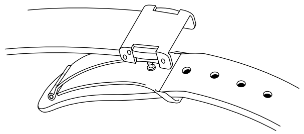
③ Pull the pin out of a adjustment hole of the band. Slide the band to adjust its length and find an appropriate hole. Place the pin into the hole.



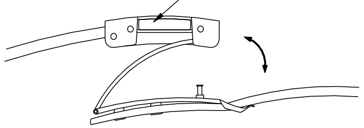
④ Fasten the flap.



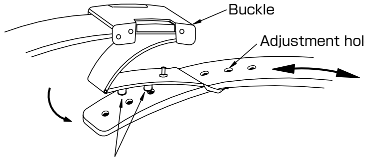
C C Type



① While pressing the push button on the both sides of the flap, lift to open the clasp.



② Pull the pins out of the adjustment holes on the band. Slide the band to the appropriate length. Place the pins into the new holes on the band. Fasten the buckle.



LUMIBRITE

If your watch has Lumibrite

Lumibrite is a luminous paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark.
For example, if exposed to a light of more than 500 lux for approximately 10 minutes, Lumibrite can emit light for 3 to 5 hours.
Please note, however, that, as Lumibrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time.
The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source to the watch.
※In general, when coming from a place that is bright to a place that is dark, it takes human eyes some time to adapt to the darkness making it difficult to see objects initially. (Dark adaptation)
※LumiBrite is luminous paint that stores and emits light, which is harmless to human beings and the environment, containing no toxic materials such as radioactive substances.

Condition		Illumination
Sunlight	Fine weather	100,000 lux
	Cloudy weather	10,000 lux
Indoor (Window-side during daytime)	Fine weather	more than 3,000 lux
	Cloudy weather	1,000 to 3,000 lux
	Rainy weather	less than 1,000 lux
Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light))	Distance to the watch: 1 m	1,000 lux
	Distance to the watch: 3 m	500 lux (average room luminance)
	Distance to the watch: 4 m	250 lux

TROUBLESHOOTING

Trouble	Possible causes	Solutions
The watch stops operating.	The battery has run down.	Have the battery replaced with a new one immediately by the retailer from whom the watch was purchased.
The small second hand moves in 2-minute increments.	The battery nears its end.	
The watch temporarily gains or loses time.	The watch has been left or worn in extremely high or low temperatures.	Return the watch to a normal temperature so that it works accurately as usual, and then reset the time. The watch has been adjusted so that it works accurately when it is worn on your wrist under a normal temperature range between 5 °C and 35 °C.
	The watch has been left close to an object with a strong magnetic field.	Correct this condition by moving and keeping the watch away from the magnetic source. If this action does not correct the condition, contact the retailer from whom the watch was purchased.
	You drop the watch, hit it against a hard surface, or wear it while playing active sports. The watch is exposed to strong vibrations.	Reset the time. If the watch does not return to its normal accuracy after resetting the time, contact the retailer from whom the watch was purchased.
The STOPWATCH hands do not return to the 0 position when the stopwatch is reset.	The watch has been affected by magnetism or exposed to strong shocks or vibrations.	Adjust the positions of the mode indicator, center hand and two hands of the small watch, and then reset the time. Follow the instructions in HAND POSITION ADJUSTMENT(→ P.98) and TIME MODE(→ P.73).
The inner surface of the glass is clouded.	Moisture has entered the watch because the gasket has deteriorated.	Contact the retailer from whom the watch was purchased.
The date changes at 12 o'clock noon.	AM/PM is not properly set.	Advance the hour hands for 12 hours to correctly set the time and date.

※In the event of any other problem, please contact the retailer from whom the watch was purchased.

BATTERY CHANGE

3 Years

The miniature battery which powers your watch should last approximately **3 years**. However, because the battery is inserted at the factory to check the function and performance of the watch, its actual life once in your possession may be less than the specified period. When the battery expires, be sure to replace it as soon as possible to prevent any malfunction. For battery replacement, we recommend that you contact an AUTHORIZED SEIKO DEALER and request **SEIKO SR927W** battery.

※If the yacht timer is used more than 6 hours per week, the timer is used more than 15 minutes per day, the stopwatch is used more than 60 minutes per day and the alarm sounds more than 40 seconds per day, the battery life may be less than the specified period.

●Battery life indicator

When the battery nears its end, the small second hand moves at two-second intervals instead of normal one-second intervals. In that case, have the battery replaced with a new one as soon as possible.

※The watch remains accurate while the small second hand is moving at two-second intervals.

WARNING

●Do not remove the battery from the watch.
●If it is necessary to take out the battery, keep it out of the reach of children. If a child swallows it, consult a doctor immediately.

CAUTION

●Never short-circuit, tamper with or heat the battery, and never expose it to fire. The battery may burst, become very hot or catch fire.
●The battery is not rechargeable. Never attempt to recharge it, as this may cause battery leakage or damage to the battery.

SPECIFICATIONS

1 Frequency of crystal oscillator ······32,768 Hz (Hz = Hertz...Cycles per second)
2 Loss/gain (Monthly rate) ······Less than 15 seconds when used on the wrist within normal temperature range (5 °C ~35 °C)
3 Operational temperature range ······Between −10 °C and +60 °C
4 Driving system ······Step motor 4 pieces
5 Display system
   Time ······Hour, minute and small second hands in 1-second increments
   Yacht timer/Timer ······Center hand: 1-minute and 1-second increments (when the remaining time is less than 1 minute) exclusively for timer
   Small watch: 1-second increments
   Stopwatch ······Center hand: 1/5-second increments
   Small watch (hour and minute hands): 1-minute increments
   Alarm ······Small watch : Regular alarm time
   Local time ······Small watch : Local time in 1-minute increments
6 Battery ······SEIKO SR927W, 1 piece
7 Battery life ······Approximately 3 years
   If the yacht timer is used less than 6 hours per week, the timer is used less than 15 minutes per day, the stopwatch is used less than 60 minutes per day and the alarm sounds less than 40 seconds per day.
8 IC (Integrated Circuit) ······C-MOS-IC: 1 piece

※The specifications are subject to change without prior notice for product improvements.